

令和2年度特定外来生物（キョン）防除対策検討委員会（第2回）

議事概要

1. 開催日時 令和3年1月26日（火） 15:00～16:00

2. 開催場所 東京都環境局 20B 会議室及び大島支庁第二会議室

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、委員はオンラインによる参加

3. 議事

- 1) 令和2年度の事業進捗について
- 2) 東京都キョン防除実施計画の改定について

4. 出席者

■検討委員

織 朱實	上智大学地球環境学研究科 教授
加瀬 ちひろ	麻布大学獣医学部 講師
小池 伸介	東京農工大学大学院 教授
羽澄 俊裕	環境省登録・鳥獣保護管理プランナー
松林 尚志	東京農業大学農学部 教授（欠席）

■臨時委員

石井 信夫	東京女子大学 名誉教授
佐々木 洋平	一般社団法人大日本猟友会 代表理事会長
深澤 圭太	国立研究開発法人国立環境研究所 主任研究員

5. 議事内容

(1) 令和2年度の事業進捗について

1) 令和2年度キョン防除事業進捗報告

事務局より、12月末時点の事業進捗について報告があった。

2) 令和2年度キョン捕獲実績

事務局より、12月末時点の捕獲実績について報告があった。

(2) 東京都キョン防除実施計画の改定について

1) 東京都キョン防除実施計画改定案

外来生物法に基づく防除の告示の期間延長に伴い、東京都キョン防除実施計画の期間

延長を行うため、事務局より東京都キョン防除実施計画改定案について説明があった。

今回の改定は本防除事業を継続するために急ぎ行う必要があり、当面1年の期間延長及び時点更新のみ行う。防除事業の内容については、検討時間が十分に確保できていないことから、来年度改めて改正する。

委員からは次の意見が出された。

- ・ センサーカメラの空間補間図の島南東端にある白い部分は何か？管理ユニットの凡例と同じであり誤解を生む。  
→（事務局）モニタリング地点のデータを空間補間した際に、範囲外となる部分である。図と凡例の表現を修正する。
- ・ 農作物被害について何か量的なデータを示せないか。防除の必要性を示すためにも情報が必要である。  
→（事務局）これまで公表していたデータを更新する方向で検討する。
- ・ 下層植生について、文章中に出てくる食痕率に関する図を載せたほうがよい。  
→（事務局）文章に合った図となるよう修正する。
- ・ 島外ハンターをどのように動員しているのか知りたい。  
→（事務局）島外事業者が受託しているという意味である。分かりやすい文言に修正する。

以上の点について事務局が修正することとし、改定について了承された。